

## 「鎌倉市にふさわしい博物館基本構想（案）」の概要

はじめに

### 第1章 基本構想策定に向けて

#### 1 鎌倉市を取り巻く現況

- (1) 現在のまちと歴史的遺産がモザイク画のように共存するのが鎌倉地域の特徴。(P1)
- (2) 鎌倉の歴史的遺産は豊かな自然環境の中で営まれてきた。(P1)
- (3) 鎌倉国宝館の建設や御谷騒動等、鎌倉市では歴史的遺産・自然環境が守られてきた。(P2)
- (4) 「歴史的遺産と共生するまちづくり」を進めるため、鎌倉市歴史的風致維持向上計画の推進、日本遺産「いざ鎌倉～歴史と文化が描くモザイク画のまちへ～」の認定、鎌倉歴史文化交流館の整備、国指定史跡永福寺跡の整備・公開等に取り組んだ。(P2)

#### 2 これまでの博物館計画と既存施設

鎌倉市における博物館計画の経緯と現状の説明。現在は、鎌倉歴史文化交流館と鎌倉国宝館が鎌倉の博物館機能を担う中心的施設となっている。(P4)

#### 3 本構想策定の必要性和目的

- ・鎌倉市の特徴・強みである豊富な文化遺産・歴史的遺産及び豊かな自然環境を生かし、積極的に発信していくにあたっては、博物館が有効なツールとなる。(P4)
- ・今後、鎌倉市が推進する「歴史的遺産と共生するまちづくり」等の諸施策を総合化することで、「鎌倉市にふさわしい博物館」を構築していく必要がある。(P4)

### 第2章 基本的な考えかた

#### 1 「鎌倉市にふさわしい博物館」の基本理念

第3次鎌倉市総合計画基本構想の「将来都市像」を目指すための具体的な手法のひとつとして、「鎌倉市にふさわしい博物館」を構築する。(P5)

#### 2 「鎌倉市にふさわしい博物館」の使命

- (1) 学術的調査研究を推進し、歴史的・文化的遺産を活用した博物館活動を行う。(P5)
- (2) 適切な収蔵施設の確保を目指す。(P5)
- (3) 「歴史的遺産と共生するまちづくり」を推進するためエコミュージアムの考え方を導入する。(P5)

#### 3 「鎌倉市にふさわしい博物館」の機能とめざす姿

- (1) 総合博物館(人文系・自然史系+中央図書館の近世・近代資料)機能の構築。(P5)
- (2) エコミュージアムを構築し、行政と市民の協力関係による運営を行う。(P6)

#### 4 「鎌倉市にふさわしい博物館」の事業活動の重点

- (1) 鎌倉の歴史文化に関する調査研究を推進するとともに、埋蔵文化財センター機能の検討、エコミュージアム先進事例等の研究を行う。(P6)
- (2) 調査研究成果を市民に還元・発信することで、地域資源の活用を促進する。(P6)
- (3) 社寺・市民と行政が協働した博物館運営をめざす。(P6)

### 第3章 「鎌倉市にふさわしい博物館」の具体的なあり方

#### 1 「鎌倉市にふさわしい博物館」の組織と機能

##### (1) 組織

- ・将来的な総合博物館建物の建設は望まれるが、当面は新たな博物館用の大規模な建物を建設せず、既存施設の強化と市内に点在する遺産の現地での効果的な活用・保存を目指す。(P8)
- ・鎌倉歴史文化交流館を登録博物館とし、鎌倉国宝館との2館を両輪とする組織整備によって博物館組織を再構築する。(P8)
- ・博物館の調査研究機能の一部門として埋蔵文化財センター機能を検討する。(P8)
- ・美術館が設置される場合はこれも含めて博物館を構築する。(P8)

##### (2) 機能

国宝館と交流館の連携強化により、調査研究・展示や体験学習等の拡充を図り、エコミュージアムのガイダンスなども実施する。鎌倉歴史文化交流館が登録博物館となるための要件である収蔵施設については、鎌倉国宝館と同様の機能を付与すべくその充実を目指す。(P8)

※組織・機能についてはP9に図あり。「鎌倉市にふさわしい博物館（エコミュージアムのコア）」

#### 2 施設整備

- (1) 博物館の調査研究機能及び保管機能の充足、エコミュージアムのガイダンス施設とすること等を目

的として、扇ガ谷一丁目用地に必要最小限の建物を建築することについて、鎌倉市公共施設再編計画との整合を図りながら検討する。(P9)

- (2) 鎌倉国宝館の老朽化対策と鎌倉歴史文化交流館の機能強化・拡充について、鎌倉市公共施設再編計画に則って検討する。(P9)

※扇ガ谷一丁目用地についてはP10に図あり。「扇ガ谷一丁目用地について」

### 3 エコミュージアムの考え方の導入

- (1) エコミュージアムの定義。(P11)
- (2) 鎌倉市での中核施設(コア)、衛星施設(サテライト)、発見の小径(ディスカバリートレイル)の具体的候補を列举。(P12)

### 4 管理運営体制

- (1) 市は、市民・社寺等の協力体制を市の責任のもとに構築し、エコミュージアム全体の取りまとめを行う。さらに市民等によって、衛星施設(サテライト)や発見の小径(ディスカバリートレイル)の活用・運営が主体的に行われるよう、支援する。(P12)
- (2) 市民・社寺・関係団体等との運営組織の立ち上げを検討する。(P12)

## 第4章 事業活動

### 1 収集機能

- (1) 鎌倉国宝館と鎌倉歴史文化交流館の役割分担のもと、優秀なコレクション形成を目指す。(P15)
- (2) 資料購入の将来的な予算化を検討する。(P15)

### 2 保管機能

- (1) 扇ガ谷一丁目用地での整備に係る検討、出土品の十分な環境での保管を目指す。(P15)
- (2) 各種資料のデジタル化等の措置を講じ、十分な環境で保管することを目指す。(P15)

### 3 調査研究機能

- (1) 学術的・専門的な分野における調査研究を推進する。(P15)
- (2) 資料ごとの特性に応じた保存技術・展示技術の研究を推進する。(P16)
- (3) エコミュージアムの実践・運営に係る調査研究を推進する。(P16)
- (4) 独自予算の他、外部資金の積極的な獲得を目指し、調査研究費を確保する。(P16)

### 4 教育普及機能

- (1) 鎌倉国宝館と鎌倉歴史文化交流館の特色を生かし、各種イベントを積極的に実施する。(P16)
- (2) 両館及び近隣施設との連携を強化し、積極的な情報発信やイベント開催するとともに、MLA連携も併せて進める。(P17)
- (3) 市民等が主体的にエコミュージアムに参画し、住民と行政とが連携することによって、地域に対する愛着や誇りを創出する。(P17)
- (4) 学校教育との連携や生涯学習等、多種多様な教育活動を推進する。(P17)

### 5 ガイダンス機能

- (1) サテライトを散策するディスカバリートレイルを設定し、その仕組みを整備する。(P17)
- (2) コア施設(国宝館・歴史文化交流館)などで、エコミュージアムの紹介を行う。(P18)

## 第5章 今後の事業推進に向けて

### 1 今後の課題

- (1) 市民・関連団体の積極的参画、社寺の理解の促進と積極的協力の確保、市民・関連団体・社寺及び行政による運営組織の設置と役割分担、史跡整備といったエコミュージアムの構築と運営に係る諸課題。(P19)
- (2) 積極的な調査研究の展開、資料の適切な保存管理など、博物館機能の充実に係る諸課題。(P20)

### 2 事業スケジュール

- ・第3次鎌倉市総合計画第4期基本計画への位置づけ。(P21)
- ・令和2年度の基本計画、令和3年度の実施計画の策定。(P21)
- ・令和4年度以降の実施計画の実行。(P21)

## 巻末 用語解説 (P22)

鎌倉市にふさわしい博物館基本構想検討委員会条例 (P23)

鎌倉市にふさわしい博物館基本構想検討委員会条例施行規則 (P24)

鎌倉市にふさわしい博物館基本構想検討委員会委員及び幹事名簿 (P25)

鎌倉市にふさわしい博物館基本構想検討経過 (P27)